

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立向陽小学校

教育目標(めざす児童生徒像)	今年度の指導の重点
<p>心豊かでたくましく生きる子どもの育成</p> <p>【めざす子ども像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく考える子</li> <li>・助け合う子</li> <li>・元気な子</li> </ul>	<p>(1)学ぶ意欲の育成と学力向上 学習規律を確立させ、基礎学力の定着を図る。 「聞く・書く・話す」力を身につけさせる。</p> <p>(2)心の教育の充実 基本的な生活ルールを身につけさせる。 協力・協働場面を多く取り入れ、人間関係力を高める。</p> <p>(3)体力向上と健康増進 運動の機会を充実させ、体力・運動能力の向上に努める。 基本的な生活習慣の確立をめざす。</p>

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国(小学校)</p> <p>国語Aについては、県平均と比べると正答率が高く、算数Aについては、県平均と同程度である。</p> <p>国語B、算数B、理科については、県平均と比べると正答率は低い。</p> <p>国語Aの「伝統的な国語文化と国語の特質に関する事項」領域については8割程度が理解できているが、「話すこと・聞くこと」領域では課題がある。</p> <p>漢字を読み書くについてはすべて県平均を上回った。(シャワーを浴びる本校89.8%・県62.3%)</p> <p>式を読み図と関連付けた理解(本校77.6%・県87.8%)</p> <p>県(中学校)</p> <p>国語の正答率が県平均を上回ったが、数学、理科、社会については県平均を下回った。</p> <p>○言語についての知識・技能・理解では、昨年度に比べ、8ポイント近く上回っている。特に、故事成語は、県の正答率を22.3ポイント上回っている。漢字の書きについても上回っている。(国語)</p> <p>○数学的な考え方が、昨年度に比べ、4ポイント近く上回っている。展開図から見取り図を選択する問題では、県の正答率を12.6ポイント上回っている。柱状グラフの読み取りも上回っている。(算数)</p> <p>リーフレット作成の条件に沿ってまとめを書く問題が17ポイント近く県の正答率を下回っていた。慣用句については県の正答率を下回っていた。(国語)</p> <p>比を用いた式の選択問題ではかなり県の正答率を下回っていた。(算数)</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>テレビ等の視聴時間は県と同程度である。</p> <p>家庭での学習時間(1時間以上)の割合が県平均に比べて少ない。</p> <p>全く家庭学習をしない割合が県より高い。</p> <p>全く読書をしない割合は県より低い</p> <p>授業の中で、話し合い活動をしていと思っていた児童生徒が県平均に比べて少ない。</p> <p>ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがあると答えた児童が県肯定率との差が縮まった。</p> <p>今すんでいる地域の行事に参加している割合が県平均よりかなり高い。</p>

成果と課題	課題に対応した改善方法
<p>国語、算数・数学ともに活用型の問題や記述式の問題を苦手としている。</p> <p>理科・社会の基礎的・基本的事項のな定着が不十分な児童生徒が多い。</p> <p>1時間以上、家庭学習をしている児童が少なく、全くしない児童もいる。</p> <p>国語A・算数Aともに正答率の高い児童が増えたが、低い児童もいる。</p>	<p>到達度確認テスト・読解力テスト・東書ウェブを朝学習に位置づけ、計画的に行うことで、活用型の問題や記述式の問題に慣れさせる。</p> <p>毎日の授業の中で、どの教科においても、自分の考えをノートに書く活動を取り入れる。</p> <p>理科・社会の授業では、前学年の基礎的な事項の復習をさせる。</p> <p>宿題忘れり週間の取り組みで家庭学習の習慣化を図る。</p> <p>朝学習(国語・算数隔週)に前学年の復習プリントを取り入れる。</p> <p>学力・学習状況調査の結果説明と間違いなおしを個別指導で行う。</p>

取組の検証方法及び検証時期	平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)
<p>小5に学力・学習状況調査の過去問の実施(3月)</p> <p>小6に岡山県学力・学習状況調査の過去問の実施(3月)</p>	<p>国語A算数Aの平均正答率で県平均を上回る。</p> <p>「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることが難しいと思う」児童を県平均並みにする。</p>